



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.56 August 10, 2016

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。



第56回研究発表会

英国のクラブとジェントルマン

小池 温



英国の有名なクラブは 17 世紀頃から続々と設営されたが、在英日本人のメンバーは僅少とみられる。世界経済の中心地はニューヨークだが、海運・保検は依然としてロンドンが中枢である。海運会社は国際会議が多く、会議の場所が会社やホテルだけでは時として不都合もあるので、時間の制限もなく飲食も可能なロンドンのクラブに入会したことがある。多くのクラブは **Blackballing** 制で、現会員が一人でも **Blackball** (否定) すると入会できない。

Englishman's bolthole is his club. との格言がある。**Bolthole** は「避難所」で女性(特に奥方)に会わないですむ安全な場所である。女性会員禁止のクラブはいまでも多いが、これは差別ではなく、女性に聞かれたくない話をする場所が必要だとの発想である。

クラブではポーターを大事にする要がある。家族が探しに来て、「忙しいのでクラブにいるかどうか調べますから 30 分位この入口でお待ちください」とポーターに言ってもらって、家族にお引取り願える。米国映画「愛と哀しみの果て」で、英国クラブは女性入場禁止を知らないメリル・ストリープ(スウェーデンの金持令嬢役)が、結婚相手に会うべく、

クラブにずかずか入って行く。クラブで本・新聞を見たり、飲んでいるメンバー全員が立ち上がって驚く。

この時、長老格がすぐに主任ポーターを呼んで、「ご婦人に説明を」と囁く。ポーターは固い表情で「ここはご婦人にはご遠慮願っております」と、メリルを入口に誘導していく。この場面は英国クラブとはどんな所かを如実に示した場面として有名になった。メンバーはクラブに頻繁に行かねばならぬ。行ったら何もしないのが良い。できれば決まった場所に座るのが落ち着く。自分の席に他人が先に座っていても残念な素振りは見せない。メインな場所では挨拶だけ。会話は会議室・バー・レストランで。

ドレスコード(服装規定)もあり、**Baltic Exchange** では、私がメンバーの時は、男性はビジネススーツで襟付きシャツにネクタイ。ジャケットは禁止。ゲストとしての女性は然るべき上着とスカート着用。ズボン・パンタロン・ジーンズ禁止。これに違反すると入場不可だった。

クラブ会員は紳士であるべしと言われる。**English gentlemen never tell a lie.** 但し、

いつも真実を言うとは限らない、との格言もある。紳士の保有するスーツは一生着れる 2 着で良いと言われる。(1 着は葬儀等公式用。高価な背広を持ってとのジョーク)。一方、ジャケットは、キツネ狩用、鳥撃ち用、競馬観戦用、園芸用等を揃える。アクセサリーは最小限でよい(確かに貴族は映画や小説で見てもアクセサリーは少ない)。固く巻いた傘を街では持つが、一生開かない方が良い。スピーチは短い方が良い(長く喋ると知識不足が露呈するから)。時間厳守も必要(食事時間になったら、停電でも、料理人が駆け落ちで居なくなっても着席する)。

第 32 回ジョーク・コンテスト

MC の記

三田 弘美



第 32 回ジョーク・コンテストで初めて MC をさせていただきました。17 名の会員の皆様から寄せられたジョークの面白さがしっかりと伝わるよう、

また時間内に収まるように上手に司会進行しなければ、という思いで会場に参りました。到着してすぐ、植田さんから「今日はプロジェクターがまだ届いていないようです。」と告げられ、一瞬、「Oh, my goodness…ジョーク 2 番の紹介にはプロジェクターが必須。」と思いましたが、私のいつもの「It will work out.なんとかなる、大丈夫。」という思いに変えて、いざ MC。

プロジェクターなしでのジョークの紹介。2 番のジョークになった時、佐川さんが用意して

下さった写真を見ていただき、ジョークを紹介している時、今井さんと目が合いました。その一瞬で心を汲みとって下さった今井さん、コンピューターを急いで立ちあげて下さり、御蔭で、お一人ずつにその映像を見て頂くことができました。今井さん、助けてくださりどうも有り難うございました。

さて、ジョーク・コンテストの結果ですが、今回、一位に輝かれた方はお二人いらっしゃいます。

11 番の豊田さん。

“How’s your son doing in college?” “He must be doing pretty well in languages. I just paid for three courses: \$30 for Latin, \$30 for Greek and \$200 for Scotch.”

友人同士の会話でしょうか。「息子さん、大学での様子はいかがですか？」との問いかけに、「語学ではかなりよくやっているようなんですよ。3 講座の支払いをしてきたばかりでね。ラテン語に 30 ドル、ギリシャ語に 30 ドル、スコッチに 200 ドル。」

2 回目の投票前に、「Scotch は？」という声があがりました。自分の解釈があっているかどうか、可笑しさの元がこの言葉でよかったのか、確認の質問だったと思います。土屋さんの「Scotch は、スコッチ・ウィスキーのことです。」の発言に、皆さん、納得。飲み代が授業料の何倍にもなっているこの学生さん、自分の子供でなくて良かったですね！

もうお一人、得票数同数で一位になられたのは 17 番の今井さん。

“The man with laryngitis whispered over the phone, “Is the doctor in?” “No,” the secretary whispered back. “Come on up.”

咽喉炎の男性が病院に電話し、「お医者様はいらっしゃいますか？」とかすれ声で聞き、「不在です。」と言われただけなら、「残念。今日は診療してもらえない。」ということですが、次の“Come on up.”がオチとなり、「なるほど、そういうことか。」と、最後ににんまり笑顔になるジョークです。今井さんにとってはこれが初の“大人のジョーク”のようです。

2位は、5番の小池さん。

The doctor met a former patient on the street. “Hello, Mr. Brown, the check you gave me came back!” “So did my rheumatism!” replied Brown.

治療した患者さんに道で会ったお医者様。小切手が現金化出来ずに戻ってきていることをその患者さんに告げると、「僕のリューマチ、治っていたのに、またぶり返してきました」と言われます。お医者様、フリーズしてしまったことでしょう。小池さんから「リューマチを他の病名に変えても使えますので」との助言を頂きました。

大波賞は、1番の相原さん。

There are only two four letter words that are offensive to men, “don’t” and “stop”, unless they are used together.

いつも大人のジョークを紹介してくださる相原さん。今回のジョークもそれで、討議の時間があり、このジョークを解釈する時間があったことで、2度めの投票数が増えました。

“Don’t stop.” ジョークを作ることと、ジョークを言うこと、これは一生やめないでいたいと思います。

MC 初挑戦の私をいろいろと助けてくださった皆様、どうもありがとうございました。

物理学の冗談

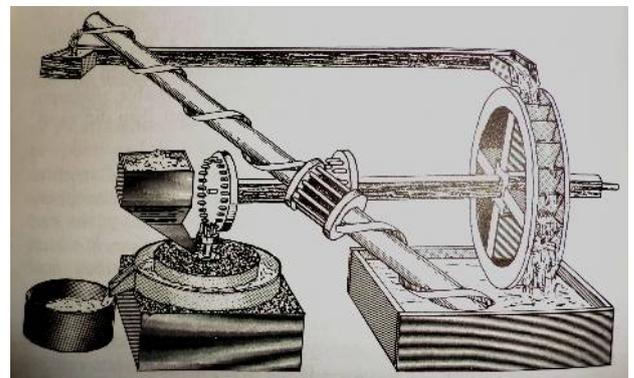
Perpetual Motion

(永久運動)

佐川 光徳

まず、インターネットで「アルキメデスの螺旋」を検索してください。トップページの最初から4,5番目に、YouTubeの動画が出て来るはずですが。オランダの水車が、低地に溜まった水を、高い位置にある排水路に汲み上げる仕掛けが手に取るように分かります。

その装置の中で、中心的役割を果たしているのが、「アルキメデスの螺旋」です。これを見て、下の図のような装置を着想した人がいました。



上部の樋は、左側がやや高く、右側がやや低くなっていますから、水は左から右へ流れて行きます。その水は樋の右端で落下し、水車を回した後、下にある水桶に溜まります。

水車の軸は、左方にある「アルキメデスの螺旋」に連結されていて、螺旋を回転させます。そこで水桶に溜まった水は、螺旋によって汲み上げられ、上部の樋の左端にある水桶に戻ります。

水車の軸は、さらに左方にある歯車をも回転

させ、その歯車は水平に置かれた粉ひき機と連結されていますから、粉ひき機を回わして、粉をひきます。こうして、この装置は、いつまでも粉をひき続けるでしょう。

でも、こんなうまい装置が現実には製作できるのでしょうか。服部博覧強記陽一会員のご教示をお待ち申し上げております。

(出典=Arthur W.J.G. Ord-Hume: *Perpetual Motion*)

どうぞよろしく = 新入会員ご紹介 =

横堀ゆみさん (川崎市多摩区)

1. 私にとってジョークとは?

自分も笑って 人も笑わせられたら 人生は楽しい!!! 笑いじわで しわしわになるのなら 本望です。

2. 私のお気に入りのジョーク

“For 20 years,” mused the man at the bar, “my wife and I were ecstatically happy.” “Then what happened?” asked the bartender. “We met.”

3. 趣味: 仕事(日本語教師) テニス 多摩川沿いの散歩 読書: JLC に入ってから、愛読書が宮本倫好先生の著書に変わりました。読めない漢字がたくさんあって、日本語教師として恥ずかしいです。でも毎日が勉強!!!

どうぞよろしく願いいたします。

WE, JOKERS No.56

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日: 2016年8月10日

発行人: 世話人代表 宮本倫好

編集人: 佐川光徳

連絡先: jlcweb-renraku@eigojoker.com

第57回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時: **2016年9月17日(土)**
14:00~16:00
- 会場: 日本近代文学館 (2階会議室)
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)
電話: 03-3468-4181
- 交通: 京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷駅から二つ目)下車徒歩約7分。
- プログラム

司会=安藤雅彦会員

① 研究発表

「One-liners と Two-liners」

豊田一男会員

② 第33回ジョーク・コンテスト

MC=舟崎正敏会員

参加費: 会員・非会員とも 1,000円

連絡先: jlcweb-renraku@eigojoker.com

第33回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、**30 WORDS** を上限とします。
 2. 出題数はお一人一題までとします。
 3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。
 4. 必要と思われる場合には、注釈・イラスト・写真などを添えください。
 5. コンテストは、2016年9月17日(土)の第57回研究発表会で行われます。
 6. 結果は、*We, Jokers* No.57, Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
 7. 当日出席しない方も応募できますが、なるべくご出席をお願いいたします。
- 宛先: jlcweb-renraku@eigojoker.com
 - 締め切り: **2016年9月4日(日)**